

と し よ か ん
通 信

石狩市民図書館
石狩市花川北7条1丁目26番地
Tel 0133-72-2000 Fax 0133-73-9120
ホームページ : <http://www.ishikari-lib-unet.ocn.ne.jp/>
Eメール : ishikari-lib@mail.ishikari-lib-unet.ocn.ne.jp

開館時間

火・金 10:00~18:00
水・木 10:00~20:00
土日祝 10:00~17:00
分館 10:00~17:00

●休館日のお知らせ(全館)●

月曜日 7月5、12、19、26日
祝日の振替 7月20日(火)
図書整理日 7月30日(金)

●図書特別整理期間のお知らせ●

6月29日(火)~7月4日(日)

特別図書整理期間につき、本館のみ、上記の期間を休館とさせていただきます。これに伴い、6月15日から29日の期間に貸し出された本の返却日を7月14日とします。

◆本のテーマ特集◆

会場/本館特集コーナー 時間/開館時間中
「涼をもとめて・・・」

日時/7月6日(火)~18日(日)

さあ、夏本番! この夏はどう過ごしますか?
日本の夏、涼しさを感じてみませんか?

「アテネからアテネまで
~読んで知ろうオリンピック」

日時/7月22日(木)~7月29日(木)

いよいよ、8月13日からアテネオリンピックが開催されます。オリンピックの歴史とたくさんの選手たちの軌跡を振り返ってみましょう。

「忘れないでください、世界の悲しみを」

日時/7月31日(土)~8月15日(日)

世界には、いまだ戦争の痛手から立ち直っていない国があります。そして戦争の終わっていない国は、まだ無数にあるのです。1945年以降起こった戦争に関する資料を集めます。

行事のご案内 お問い合わせは図書館まで (☎72-2000)

おはなし会	10日(土) 11:00~11:30 花川南コミセン和室
	11日/25日(日) 15:00~15:30 職員おはなし会(おはなしのたまご)
	17日(土) 15:00~15:30 びっくりばおはなし会(おはなしのたまご)
	24日(土) 14:00~14:30 八幡コミセン和室
	28日(水) 13:30~14:00 ボランティアおはなし会(おはなしのたまご)
	31日(土) 13:30~14:00 文庫連おはなし会 (おはなしのたまご)
CDコンサート (午後1時~)	10日(土) タンゴ・ノスタルジア 葉加瀬太郎/バイオリン (46分)
	24日(土) ショスタコーヴィチ 交響曲第7番「レニングラード」 ワレリー・ゲルギエフ/指揮 (79分)
ビデオ上映会	18日(日) 14:00~「バーンスタイン 最後のメッセージ」(117分)
宮本武蔵を 聴こう会	8日/22日(木) 13:00~ 会場/研修室・1
講座	18日(日) 11:00~12:00「絵本を楽しむ」第6回 会場/研修室・3 講師/どりーむきゃっちゃん店主安齋久子さん

♪今月のビデオ上映会&CDコンサート♪

PMF(パシフィックミュージックフェスティバル)特集

今年も7月5日からPMFのコンサートが開かれます。PMFは、世界の若手音楽家の育成を目的とした国際教育音楽祭で、20世紀を代表する音楽家、故レナード・バーンスタインの提唱で1990年に始まり、毎年札幌を主会場に各地で演奏会が開催されています。石狩市でも1994年にPMFの室内楽コンサートが開催されたことがあります。

■7月18日(日) ビデオ上映会

「バーンスタイン 最後のメッセージ」

1990年第1回PMFにおけるバーンスタインのリハーサルと札幌でのコンサートをおさめたビデオです。バーンスタインはPMF東京公演で体調を崩して急遽帰国し、3カ月後の10月に亡くなりました。死を前にした彼が語る言葉、演奏すべてが感動を呼びます。曲はシューマンの交響曲第2番です。



■7月24日(土)CDコンサート

ショスタコーヴィチ 交響曲第7番「レニングラード」
ワレリー・ゲルギエフ/指揮
キーロフ歌劇場管弦楽団
ロットルダム・フィルハーモニー管弦楽団

2004年のPMFの主席指揮者を務めるゲルギエフの演奏を、CDコンサートでお送りします。PMFで演奏されるのはショスタコーヴィチの交響曲第11番ですが、今回は2つの手兵を使った第7番「レニングラード」です。2つのオーケストラを使った迫力のある演奏を、図書館の大型スピーカーでお楽しみください。

☆ 図書館まつり ☆
お手伝いください!

今年も11月に図書館まつりを予定しています。実行委員会では、講演会やおはなし会等、盛りだくさんの内容を企画中です。そこで、一緒に図書館まつりをつくってくださるボランティアを大募集! お願いすることは、事前の準備(子どもへのプレゼントや図書館クイズの作成など)から当日の会場設営、公演受付までさまざまです。少しの時間でもご協力いただける方、まずは図書館までご連絡ください。お待ちしております。

市民レポート

高校3年生の門野さんが肌で感じた「地域コミュニケーションの大切さ」。今回は、そのきっかけとなった「通学合宿」からの報告です。

▲子どもたちと一緒に記念撮影

今月のレポーター もん の あり さ 門野 亜梨沙さん

「子どもたちと寝食を共にする1週間」

皆さんは「通学合宿」というものを知っていますか？
どのようなものなのかを簡単に説明すると、地域の会館などの施設を借りて、ある一定期間その会館で子どもたちが寝食を共にして、心の成長を目的とした行事です。
私は、この行事に過去3回「サブリリーダー」という立場で参加させてもらうチャンスがありました。そこで私はいろいろな学ぶことがあったので、今回レポートしようと思います。私は高校2年生のとき、初めて通学合宿というものに出合いました。初めてで、内容もよく分からずに参加するこ

「通学合宿」は波乱と感動



▲合宿での会議の様子

とを決めてしまいました。1週間、会館で生活するだけだから楽な企画だなあと考えていたからです。

実際に生活を始めると、子どもたちは注意を聞いてくれなかつたり、けんかを始めたりと、正直めちゃくちゃでした。料理なども子どもたちがするので包丁でのけがが絶えませんでした。想像した以上に大変なもので、私も大人の方も皆くたくたでした。ですが、残すところ2日、1日となつてくると子どもたちがしつかりしてきました。急な変化にびっくりしました。みんなが泊まる最後の日、サブリリーダーの私たちに、参加してくれた子どもたち全員が手紙をくれたのです。私はうれしくて号泣してしまいました。

私の中で一番の思い出です。

人との結びつきは本当に大切

私はこの通学合宿で、地域の方々とのコミュニケーションの大切さ、結びつきを目的で、学校や家庭では

学べない、人との結びつきの大切さを学ぶことができました。このような機会を3回も得られた私は、とても運のいい人間だと思います。通学合宿という機会がなければ身をもって学ぶことはできなかったでしょう。

今年も、6月26日から7月3日まで運良く参加できることになりました。今年はどうな子どもたちと仲良くなれるかとても楽しみです。きっと今年もいろいろな問題が起こりそうな予感しますが、コミュニケーションの大切さなどを身をもって体験、学習して、ひとまわり大人になって企画を終えたいと思います。

